

WG5 垂直避難支援WG

第1部: 検討経過概要の報告

○北後明彦(主査)
中濱慎司(幹事)
玄海嗣生
佐野友紀
志田弘二
関澤 愛
萩原一郎
村井裕樹
森山修治
吉村英祐

本WGの検討内容

垂直避難支援設備別の搬送能力,
利用上の課題点の整理

一時待避スペースのあり方

エスカレータ利用避難のあり方

介助者の対応行動を考えたエレベータ利用
避難のあり方

中間避難階を活用した垂直避難のあり方

技術指針の骨子の検討

検討

- ・垂直避難支援設備別の搬送能力
- ・利用上の課題点の整理

「垂直避難支援設備」の定義

・設備的な対策: エレベータ, エスカレータ, Evacチェア等

↑↓ 関係を考慮

・空間的な対策: 一時待機スペース, 中間避難階, スロープ等

搬送能力, 利用者・介助者からみた利用し易さを整理

垂直避難支援の実現に必要な要点の抽出

検討

- ・一時待避スペースのあり方

「一時待避スペース」の位置付け

「エレベータ利用避難等の垂直避難の成立を支援する空間」

参考: 一時避難エリア
(東京消防庁火災予防審議会)

支援空間と必要な機能と性能の整理

- ・機能: 火熱・煙からの緩衝空間, 垂直避難利用の待避空間等
- ・仕様: 必要スペース, 区画性能等
- ・空間例: 付室, 水平避難区画, バルコニー(平面空間)
階段内, 中間避難階(多層空間)等

↑↓
WG3: 一般建築WGとの連携

検討

・エスカレータ利用避難のあり方

地下鉄駅を対象

停止したエスカレータ:避難通路とみなしても良い ← 鉄道に関する技術基準

↓ バリアフリーに対応

「**運転中のエスカレータ利用を前提**」

検討項目

- ・単独および群衆時の歩行行動特性を基にした**転倒防止策**
- ・エスカレータ利用後の**避難者が滞留する空間の配置, 規模** 等

検討

・介助者の対応行動を考えたエレベータ利用避難のあり方

病院での全館避難を対象

エレベータ利用避難における
介助者の対応行動のあり方

← 参考

- 火災時のエレベータを利用した避難計画指針(案)
- 全国の災害拠点病院の職員へのエレベータ利用避難の意識調査

↓ 利用: 介助者の対応行動を考慮したエレベータ利用避難シミュレーション

介助者の対応行動が避難所要時間に及ぼす影響の分析

↕ WG1:医療福祉施設WGとの連携

検討

・中間避難階を活用した垂直避難のあり方

超高層建物での全館避難を対象

従来の方法:特別避難階段による避難

↓ **中間避難階を考慮** ← 海外の事例を参考

様々な方法:非火災バンクエレベータ+特別避難階段 利用
非常用エレベータによる限定利用 等

↓ 利用: 複数台エレベータ運行
避難シミュレーション

バリアフリーに対応したエレベータ利用避難の具体化